

明科いいまち通信

明科支所・明科公民館だより

安曇野市明科中川手 6824 番地 1

明科支所：62 - 3001、明科公民館：62 - 4605

No.34

平成28年3月17日発行

今月の明科地域の事業所のご紹介は、



松本広域消防局 明科消防署

です。

署長
栗林 紀夫

平成 5 年 4 月 1 日に松本広域消防局が発足し、2 市 4 町 13 村を一本化した広域消防体制がスタートしました。広域消防体制は、管内住民の皆さんが等しく高度な消防サービスを受けられることができるように、新たに 3 消防署・1 出張所が新設され、その中の一つが明科消防署です。庁舎は鉄筋コンクリート一部鉄骨造 2 階建てで、平成 5 年 2 月に竣工し 23 年が経過しました。明科消防署の管轄は、松本市四賀地区、安曇野市明科地区、東筑摩郡生坂村です。職員数は 21 人で、3 交替で 1 年 365 日勤務しています。

平成 27 年の当消防局全体の火災と救急件数ですが、火災は 141 件（前年比 1 件減）で、当消防局発足以来 2 番目に少ない件数となりました。救急は 17,171 件（前年比 261 件増）と年々右肩上がりが増加し、過去最高件数を更新しました。次に、安曇野市明科地区の火災と救急件数ですが、火災は 1 件にとどまっており、100 日夜警など消防団の積極的な火災予防広報と住民の皆さんが日頃から火災予防に取り組んでいただいた結果だと思えます。救急は 415 件でその内訳は、急病が 307 件と最も多く、次いで一般負傷 56 件、交通 23 件、その他 29 件となっています。

これからの時季は、空気が乾燥し風の強い日が多くなり、火災が発生しやすい気象状況となります。当消防局管内は、毎年春先にあぜ焼きやたき火による火災が頻発する傾向にあります。火の取り扱いには十分注意していただき、火入れの際は天候状況の確認、延焼防止帯の設定、消火の準備、十分な監視をしていただき、万一の際には早期通報をお願いします。

防火標語（平成 27 年度全国統一防火標語）

「無防備な 心に火災が かくれんぼ」



（圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車）



庁 舎(平成 5 年 2 月竣工)



明科たなかぼけ

③



六文銭の旗のもと 十勇士が行く

NHK大河ドラマ「真田丸」に関して 海野氏と東山(明科)・・・(下)

武田晴信(信玄)は、府中(松本)を落とし、北へと侵攻を進めていきました。海野氏の治めていた東山系列はことごとく落城し、武田の支配下となりました。この周辺地域の中心であった会田氏(城主岩下氏)も虚空蔵山城を焼き討ちされ降伏、この会田氏の滅落により明科に存在していた会田氏の出城の花見城(番兵宮下氏)、三峯城(同倉科氏)、佐々野城(同堀平氏・越氏)も続いて落城しました。また、塔原氏の出城で会田への入口(会田口)を守備していた小屋城(番兵関氏)、茶白山城(番兵青木氏)の各出城も落城しています。

真田はこれ以前から武田方の重臣として晴信(信玄)に仕えていましたが、この信濃侵攻で武田に落ちた各城主は永禄10年(1567)小島の生島足島神社において、起請文(きしょうもん)を提出し武田に忠誠を誓いました。このとき虚空蔵山城主であった海野下野守も萩原の山崎氏などとともに提出しています。奇しくもこの年に真田信繁(幸村)が誕生しました。このとき塔ノ原には新たに海野三河守が入りました。そして年月が過ぎ武田信玄が去り、天正10年(1582)信玄の息子・勝頼も織田に敗れ武田が滅亡。その織田も明智の反乱により京都本能寺で横死すると、会田は一時期上杉景勝の支配下となりましたが、小笠原貞慶が徳川家康の支援を受けて回復し、筑摩・安曇両郡を手中に収めた際に攻撃を受け、会田氏は滅亡。会田氏の家老で矢久城(召田城とも言つ)の城主を務めていた堀内氏も後に滅亡し、一族や臣下は明科の大足地区や塩川原地区に移り住みました。塩川原には「会田分」という地籍が名残として今でも存在しています。

塔ノ原城主の海野三河守は臣下に内川氏を擁し、その一部は光野田や矢ノ澤、東川手に。また、山崎氏を萩原に擁し、分かれが光や東川手に配されました。海野三河守は小笠原氏の配下となりましたが、安曇の古厩氏と結託して謀反の意思があり、それを小笠原氏に察知され、松本城で三河守・古厩氏とも誘殺されてしまい滅亡することになります。また、稲倉城主の赤沢式部少輔を苅谷原城に招き自害させてもいます。塔ノ原城には、その後身内である小笠原長継をあてがいました。また光氏は謀反なき者とされそのまま光城におかれています。このように松本城主に復権した小笠原氏は着々と地盤固めをしていきました。慶長5年(1600)関ヶ原の戦い。この天下分け目の戦いで徳川方が勝利し、豊臣方の敗北。慶長8年(1603)徳川家康は徳川幕府を開く。そして元和元年(1615)大阪夏の陣において真田幸村は没します。これにより完全に徳川の時代となりました。中世戦国時代、日本中が国盗りの時代で大きく動きまわりました。400年を過ぎた現代でもその形跡が各所に残り、影響がまだまだ多く存在しています。

真田丸に見られる幸村も、戦国の英雄としての名が残り、そして幾つも脚色され伝えられてきました。戦国大名が次々と台頭し、天下を狙う中であつて、信濃は各地の小豪氏が常に大名の生き様に気を配りながら領地を治め、領民を守りながら生きていくかでありました。真田はその時代を四方八方手を尽くして乗り切り、武士の時代から明治新政府となるまで生き残った武家でありました。真田十勇士のモデルとなった実際の人物にも焦点があたり実に興味注がれてきました。NHKの調査では戦国武将の中で全国的に最も人気があつたのが「真田幸村」ということでもあります。大河ドラマの視聴率も約40%と伊達正宗以来の高視聴率を誇っているということです。

この明科地区でも真田氏の祖である海野一族が川東を統治し、川西を仁科氏が統治しており、各見晴らしの良い場所の山頂に山城を築いていました。そのときの支配者により城主が入れ替わったり、その家臣が入って来たり出て行ったり、地元民が番兵をしたりとそれぞれに関わりを持っていました。

歴史を探ることは、地域や自分のルーツを知ることにも繋がります。「過去がある 英知がある そこに輝く未来がある」これは昭和46年長峰山頂に建立された歴史の塔の碑文です。旧明科町時代の町長で故波場博志氏の言葉であります。過去をたどると現代が見えます。そして次にはその土台の上に未来を築くものであるというものです。・・・戦国時代に発する現代を考えてみたらどうでしょうか・・・

「真田丸」の本年、明科公民館では、「明科の海野氏と真田丸の時代」と銘づつて講座を開催したところ、市内外から180人以上の参加者がありました。今度は実際にゆかりの地を巡る講座を開催する計画です。ご期待ください。

最後に幸村の父、真田昌幸の言葉で締めくくります。
「皆、日の本の真ん中のこの広大な信濃が欲しいのよ・・・信濃の我々は、この信濃を守って行かねばならんのよ・・・」 明科支所 西村永明著(おわり)

お世話になりました



～明科支所より～
今年度末をもって2名の職員が定年退職を迎えます。

明科支所長兼市民生活部明科地域課長

西村 永明



永いようで短かった職員生活も最後となりました。支えていただいた市民の皆さま、職員の皆さまには感謝のみです。この時期になりますと「あずさ2号」と「いい日旅立ち」を自然と口ずさみます。『水の集まる場所に人は集まる』安曇野の要の明科には必ずや人々のにぎわいが再生されるものと思います。「松糸道路・駅前整備・長峰山や水郷の里」10年後を期待して席を去ることとします。・・・ありがとうあかしな・・・

市民生活部明科地域課地域担当係長

下里 眞弓



この度、定年退職を迎えます下里です。長い間大変お世話になりました。地域の皆さまの温かい励ましをいただき、この日を迎えることができました。今後は、新しい人生に向けて励んでいきたいと思っております。明科地域のますますの発展と、皆さまのご多幸を心よりお祈り申し上げます。お礼の言葉に代えさせていただきます。ありがとうございました。

平成 28 年 4 月 1 日利用分より安曇野市公民館条例の改正に伴い

明科公民館の利用方法等が変わります!

休館日が毎月第2・第4月曜日に変わります。

これまで毎週月曜日としていましたが、4月からは月に2日のみとなります。

使用申請は使用日の6日前まで、使用料金のお支払いは使用日の2日前まで、

使用の取り消しは使用日の2日前までとなります。

使用単位が変わります。

これまで、およそ3時間を1単位としていましたが、4月以降利用分からは時間を指定しての予約が可能です。

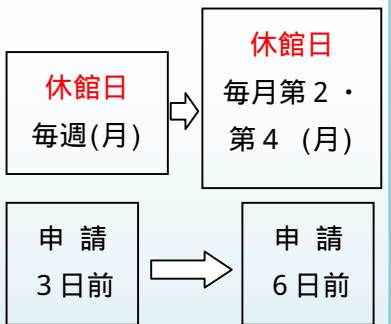
使用単位の変更に伴い、使用料金も1時間あたりの料金に変わります。

明科公民館の各部屋の新使用料金は下記のとおりです。

(それぞれ1時間あたり)

和室1	250円	調理実習室	810円	講義室1	320円
和室2	250円	創作室	400円	講義室2	320円
和室1・2	320円	講堂	1,220円	講義室1・2	400円
和室3	120円	会議室2	120円		

- ・冷暖房使用料込み
- ・放送設備や器具等を使用する場合は、別途使用料が必要となります。



問合せ：明科公民館
(62-4605)



知っ得！あかしな



暖かい!!そう感じるこののできる日が多くなり、段々と春が近づいて来た事を実感できるようになってきました。野球好きとしては『球春到来!!』などと騒いでみたくなる季節でもあり、ウズウズする日々を過ごしておりますが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。今回はそんな野球の球場のお話です。明日の世間話に使っていただけますと幸いです。



東京ドーム落成式の日



1988年の3月17日に日本初の全天候型球場として落成式が行われ、翌18日には公式戦が行われ、正式オープンとなりました。雨天順延の無い野球場と言うものは本拠地として使用する読売巨人軍の選手たちにも好評だったようですが、主力選手の一人だった中畑清は「空の見えないところで野球をするのは寂しい」と語っていたそうです。確かに全天候型球場となれば、雨での順延がないため、イベントへ行く予定を立てた時に、よっぽどの災害でも起きない限り、予定通りに参加することが出来るというのは嬉しいことですが、こと野球に限れば、やはり、空が見える球場で行って欲しいという思いがあります。

空が見えないと「月に向かって打て」と言う事も出来ませんしね。

今月末納期限の市税・料金等のお知らせ

- ・市県民税（3月随時分）・国民健康保険税（第9期）・後期高齢者医療保険料（第12期）
- ・介護保険料（第12期）・保育料（3月分）・住宅家賃（3月分）・水道料金（3月請求分）

以上の市税・料金などが今月末の納期限となっております。期限内の納入をお願いします。

口座振替を設定なさっている方は、納期限と同日3月31日に口座からの引き落としが行われます。期限前の口座残高のご確認をお願いします。

安曇野市制施行10周年記念 平成27年度あやめ杯ワンバウンドマッチ開催!!

去る2月28日(日) 明科地域では初めて市全域を対象としたオープン参加でのワンバウンドふらば～るバレーボールの大会を開催しました。全14チーム中、明科地域からも8チームが参加しました。

優勝 東小A
準優勝 ホリガナーゼA
第三位 宮本A、東小B



熱戦を繰り広げています

試合が始まります!



編集後記

・我、光ノ道ヲ踏マツトス：市職員も終了し、新たな道に踏み出すこととなりました。お世話になりました。市の発展、明科地域の発展を期待します。

それに1面の広域のマイクは小生が担当して作成したものです…(え)

別れの季節が巡る度、人間の友人、知人は減っていきます。最近猫と犬の友達、知り合いは増えたけど…(や)

3月は別れの季節。私たちのように3月を寂しく思う人間もいる。一方で、新たな希望に燃えて、新しい出発と出会いに胸膨らませている人たちもいます。それにつけても3月は物入りの季節です…。(ト)

学生時代の友人や同級生の多くは大学生であり、春休みのようですが、土日はバイトを目いっぱい入れる人が多いようです。なかなか休みが合いません(笑)(あ)

・プロ野球もそろそろ開幕です。色々問題がありますが、どうせなら楽しく見たいものです。目指せ笑って開幕、優勝して爆笑!!

です。(二)



明科いいまち通信は、新しい明科支所と明科公民館の出来事やお知らせのたよりです。

これからも定期的に皆さんにお届けします。